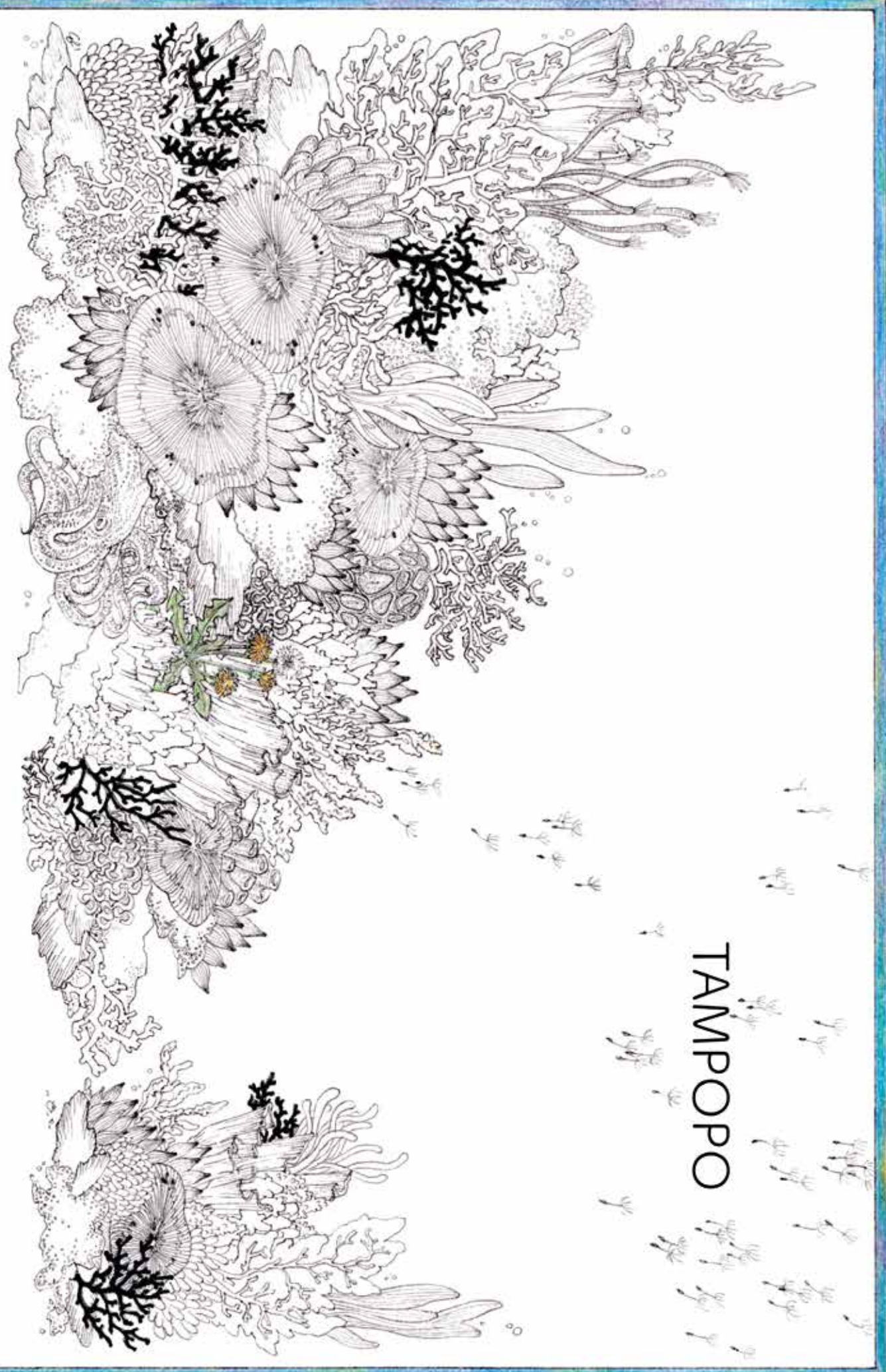


TAMPOPO



会長挨拶

第3代会長 庄司 諒



同窓生のみなさん、会長の庄司です。平素は同窓会活動にご理解ご支援をいただき、厚く御礼申しあげます。

さて、会員数も5000人を超え、社会で様々な活躍をされている方が多くいらっしゃると思います。執行部内に目を向けても学生や会社員、教員など様々な立場のメンバーが同じ目標に向かって活動を行っています。社会人になると仕事以外で交友関係を築く機会がなかなかないので、同窓会執行部の活動というのは貴重な場であると思います。執行部に直接参加しなくても同窓会懇親会の場で同窓生同士の交流を図ることができます。年々参加者も増えていますので、次回の懇親会にぜひ参加してはいかがでしょうか。

まもなく宮城野高校も25周年という節目を迎えることとなります。この機会に同窓会の活動をより活発にし、同窓会も次の節目を迎えられるように宮城野高校と同窓会の発展に努めていきたいと思っております。

校長挨拶

第10代校長 遠藤 吉夫



同窓会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また日頃より、母校の教育活動に対して心温まるご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

私、この4月に本校第10代の校長として着任しました遠藤吉夫と申します。よろしく申し上げます。

私にとって本校はふるさとと同じくらい愛着のある学校です。なぜなら本校開校当初の3年間（平成7年4月～平成10年3月）を第1回生から第3回生とともに汗を流した学校であるからです。特に第1回生とは、担任として3年間歩みを同じくし、草創期の本校で、パイロットスクールの生みの苦楽をともにしました。その本校に校長として戻ることができ、喜びと同時にその責の重さをかみしめているところです。本校のさらなる発展のために、微力ながら力を尽くしたいと存じます。

さて、本校のみならず教育を取り巻く状況は大きく変わるうしています。宮城県の公立高校入試は現在の中学2年生が受験する時から大きく変更されます。また新学習指導要領、高大接続改革、それに伴う新テストの実施、英語の資格試験の導入等、どれをとりましてもその動向をしっかりと見据え、本校生徒の真の人的成長や進路実現をかなえるべく、本校教育を推進してまいります。

また本校は来年創立25周年を迎えます。現在、学校としましては記念式典を含めた記念事業を平成32年度に実施すべく、同窓会の皆様やPTA三団体と準備を進めているところです。詳しいところは、今後同窓会総会や同窓会報等を通じてお知らせしてまいります。一層のご協力ご支援を賜りたく、よろしく申し上げます。

最後になりましたが、現役宮城野高生と、同窓会員の皆様のますますのご活躍とご健康を願い、結びといたします。

平成29年度 同窓会総会・懇親会



平成29年9月、仙台にて宮城野高校同窓会総会懇親会が行われました。久しぶりにお会いする懐かしい先生方、そして友人達。はじめてお会いする他学年の方々と、本当に楽しい時間はあつという間に過ぎ、忘れることのできない、心あたたまる会となりました。

総会はつつがなく議事が進行し全ての議題が承認され、無事終了しました。

懇親会では、創立時の貴重なお話や（カラフルな机、覚えていいますか？）、今だから話せる思い出話などに大いに花が咲き、また、様々な学年、先生方とのお話に、新たな世界が広がっていききました。同窓会名物、宮城野高校の校歌合唱では、先生の雄大な指揮のもと、荘厳なハーモニーが会場いっぱい満ち溢れました。個性を尊重する自由な校風の宮城野高校だからこそだと思えますが、年齢、性別などにかかわらずともフラットで良い時間を過ごすことが出来ました。「一人ひとりの個性を認め合いながら、沢山の人も協力することができる。」これは、宮城野高校生の特長ですが、海外で活動する人には最も必要なスキルであると感じます。だから

らでしようか、宮城野高卒業生は宮城県内、日本国内はもとより、海外で活躍されている方も多いそうです。皆様のご活躍を伺い、自分のことのように嬉しく思いました。

卒業生の皆さん、先生方、またお会いできることを心待ちにしています！そして3年生、18回生の皆さん、幹事お疲れさまでした！最高の仕事ぶりでした！（3年生 浜田有可）

懇親会に参加いただいた方数名からコメントをいただきました

吉田友香（1） 石巻からの参加ですが、同じように石巻に関わりのある後輩と話ができて懐かしい思いでした。また、懐かしい先生方ともいろいろお話ができて嬉しい夜になりました。

千葉文枝（3） 人数は少ないとはいえ、ちょうど交流しやすい規模で楽しめました！ありがとございました。

中鉢絵巳（3） 18年ぶりに会ってもすぐにわかるってすごいなーと嬉しくなりました。

西方真紀（3） 良い機会となり、とても良かったです。ありがとございました。

庭野悠子（3） 楽しかったです！美術科先生、もっと来るといいな！

浜田有可（3） 本日はありがとうございました。

早坂佳之（3） 人生で初めての同窓会に來られて最高でした！これからも活動を続けていっていただき、またさらに大きな場でお会いできたらと思います！宮城野の校歌の歌詞が今になって身にしみず。

福田陽子（3） 参加できてよかったです。また参加したいです！先生達に会えたのも嬉しかったです。

宮崎里季（3） 25周年は行きたいです。

入間田渚（8） 2回目の参加です！アットホームな雰囲気です！楽しく過ごせました。

加藤健太（19） 今回初めて参加しましたが、過去にお世話になった先生方、今まで関わることのなかった1回生から18回生の先輩方とも親交を深められ、有意義な時間を過ごすことができました。ありがとございました！



美術家はどうやって生きているのか、 その一例として

小田原のどか 7回生

宮城野高校を卒業して14年が経ちました。宮城野高校美術科で彫刻の勉強がしたいと決意し、画塾に通い出したのがたしか14歳のときだったので、それと同じだけの時間が経ったのかと思うと驚くばかりです。

宮城野高校美術科彫刻専攻を出てから、多摩美術大学彫刻学科を卒業し、東京藝術大学大学院で修士号を、筑波大学大学院で博士号をとりました。高校時代から変わらず、彫刻について考えています。昨年は、京都造形芸術大学主催で個展があったり、学会誌に戦争記念碑についての論文が掲載されたり、長崎の彫刻についての論集の編著を担当したりしました。つくることと研究を両立しながらやっています。

住まいは、14年前に上京してから現在まで、東京都下の古い一軒家です。長く一人暮らしでしたが、いまは夫と二人暮らしです。仙台市内の実家よりも田舎で、タヌキやアナグマもいるような里山です。庭と小さな畑もあって、制作や仕事で煮詰まると手入れをするのがいい息抜きになっています。作品制作は自宅と、自宅から車で10分ほどのところにある廃工場で。リノベーションし、数名の彫刻家とシェアしてスタジオとして使っています。大学を出た作家にとって、制作場所の確保はライフラインであり死活問題です。

そしてなにより、美術家はどうやって生きていくのか、それが大きな問題です。作品販売だけで生活している人もいますが、ほとんどが兼業で生活していると思われます。今年は非常勤講師として大学で講義を担当しますが、美術や思想の雑誌、芸術関係の書籍の校閲が私の生業です。とてもやりがいがあり、学びの多い仕事です。人と関わらなくてよく、長期の休みも取れ、仕事は日本中どこでもできるので、去年は展覧会のために長期滞在した京都と広島でもずっと仕事をしていました。年収は400万円台です。

版元（出版社）の経営もしています。版元経営はギリギリ赤字にならないくらい、美術家としての活動は完全に赤字です。生業で得たお金を作品制作にぶち込んでいるわけです。経営のセオリーからすれば完全に破綻しているのですが、美術家はやはりどこかが壊れていて、やらざるを得ないからやっている、これに尽きるのではないのでしょうか。

美術の限界では、初期衝動だけでつくることができる時間は限られるとよくいわれます。それこそ10代のころのような、衝動がそのままかたちになったような制作を継続するのは難しいと。これはおそらく、問いが生まれることを無視できなくなるということだと思ふのです。なぜ人の姿をつくるのか？なぜ木を彫るのか？あるいはなぜ石を？なぜそれらが彫刻と呼ばれるのか？などなど。

初期衝動だけでつくった時間。私にとっては宮城野高校で過ごした日々がこれに当たります。当時は、恩師である金子先生に「1日でもさぼったら取り戻すのに3日かかる」と言われて、ひたすら水粘土をこねくりまわしていました。そうして彫塑に取り組むうちに、なぜ人の似姿をつくるのか、どうして人間は彫刻を必要とするのか、そういった疑問が抑えきれなくなりました。美術大学でそれらの問いをひたすら考えたいと思い、いまに至ります。

高校時代の作品をまじまじと見つめ直す機会がありました。2016年に刊行された山田亮太さんという詩人の詩集の表紙に、高校2年生のときにつくった^{そと}塑造の写真を提供したためです。この詩集は『オバマ・グーグル』というタイトルで、中原中也賞の候補になり第50回小熊秀雄賞を受賞したので、もしかしたら書店で見かけた方もいるかもしれません。しばらく忘れていた10代のころを葛藤や問いを、再び点検するようないい機会でした。

……話は尽きません。とにかくにも、高校時代の作品は捨てないほうがいいということです。時間が経ったのちに再び見つめると、いまの自分との連続性と非連続性を照らし合わせることができて、なかなかおもしろいと思います。

最後に。昨年はいくつかの新聞やメディアから取材を受けました。毎日新聞と表象文化論学会の記事は、ウェブで読むことができます。もしご関心があれば、ぜひ検索を。以上、美術家はどうやって生きているのか、その一事例の報告でした。



山田亮太『オバマ・グーグル』
(思潮社、2016年) 書影。
彫刻は小田原のどか作『白い影』
(2002年制作)。

小学5年生の岡島タエ子がふと現れて、思い出と自分の人生の歩みに思いを巡らせるあのジオリ映画のようだ。思いもよらぬめぐりあわせから、私の中の宮城野高校生だった私が強く語りかけてきた。

2年前から私は仕事で県内の教職員の皆様とかかわることとなり、そこで宮城野高校創成期に在籍していた先生方ともお会いすることとなった。宮城野高校創成期というともよや20年以上も前の話となる。20年、何度考えても驚きだ、こうして17歳の私はすぐそばにいるのに。

当然、先生方も私個人を覚えているということはないわけだがそれでも、どの先生方からも聞こえてくるのは当時の宮城野高校生という鮮烈な印象、渦巻くエネルギー、そして持て余すほどの個性についてだった。齢五十から六十を迎えている先生方の長いキャリアの中で私たち宮城野高校生は強烈なインパクトを残してきたわけだ。その強いインパクトをもたらす宮城野という環境下で私たち学生自身は何を培ったのだろうか。

まったく新しいコンセプトと心理をもとにした公立高校として、私たち3期生が入学して初めて3学年がそろった。個々人の個性や自由を大切にしたい指針に私たちは大いに期待し、息巻いて入学したものだった。生活スタイルの束縛はなく、進路のために授業を一つ一つ組み込んでいき、目標と道筋を自ら作り上げていった。授業以外でもそうだった。サークル活動を起こして一つの団体を作り上げるために、先生方にはじめ協力やアドバイスを仰ぎ、様々なことをゼロから形作っていたことを今でも鮮明に思い出せる。唯一の校則「上靴」を夏の期間の蒸れと臭いを解消すべく、サンダルの許認可制度そのものをこしらえまんと爽快な夏を過ごしたのは1年生の夏の話。今思えば入学して間無しではないか。思い出せば思い出すほど、17歳の私は36歳を迎えた私を勢いよく追い抜いていく。

しかし、宮城野で培った自由と責任に基づく自律心は、次のステップで容易には生かせなかった。おそらくその経験は私だけではないだろう。卒業してみれば周囲の同世代や大人たちとの考え方に多くのギャップを感じる場面ばかりだった。宮城野で当然のごとく存在した選択肢そのものが存在しなかったり、考えることすらしない環境が待ち受けていた。若さゆえのエネルギーの余剰もあり行き場を失ったフラストレーション下で、「みんな」的思考にもがきながら準じることまた学んでいったのだった。その中でも自分の足で自分の望む人生を歩んでこれたのはまだ頭の柔らかい多感な時期に、3年間宮城野で培った自己実現の実地トレーニングの賜物だと感じている。自分が望む未来に何が必要か、授業を一つ一つ選択していたあの時と同じように、大人になってゆく私たちはその方法と手段を身につけていた。一つ一つ精査すること、一人で出来ないこともあってその時はどうするか、周囲の力を借りたとき、また借りるには自身はどうあるべきかを徹底して学んでいたのが宮城野だったと今は思う。

社会人になり、自分の付きたい仕事につき、ライフステージに合わせて軌道修正を経て、母となって10年以上経過した今でも、私は「私の人生」を歩んでいる。いわば、「自分の人生を他人のせいにはしない歩み方」が宮城野アイデンティティなのかもしれない。

振り向きざまに17歳の私が仁王立ちで私に言う。「あんた、かなり毎日ぐずぐず言ってるケドけっこう楽しく生きてきてんじゃん」 その通りだ。

そして彼女はまた猪突猛進に走り去っていく。

日々の仕事で先生方にお会いするようになったと思ったら、今度は私たち3期生が幹事の同窓会があるというではないか。主たる幹事メンバーである美術科の友人が声をかけてくれた。大したお手伝いはできなかったが、10周年のパーティー以来の参加だった。すでに小学校高学年になる息子もつれて、会場で彼には名札に「未来の宮城野生」と書いた。母親の勝手だ。多分に漏れず私も勝手な母ちゃんの一人である。我が息子は小さなころから大人と話すことが大好きなたちだったので、ほかに子供がいない環境下でも十分にパーティーを楽しんでいた。そんな姿が目にとまり、今回のこの原稿についてもお声がけをいただいてしまった。というのに、ほとんど息子については触れていないことをここで一言詫びておこう。

このとおり原稿は迷走を極めていく。そうして書きあぐねながら、息子に「未来の宮城野生から一言」とマイクを向ける手ぶりをして見せたところ、「は？俺は宮城野にはいかないよ。俺は『三高(さ・ん・こ・う)』と、ズバツと返ってきた。小学生にしてその意志(何を根拠に!)。それでこそ我が息子だ。自分で決めて、自分の人生を培い、自分の人生を歩んでほしい。

自分の一生は誰のモノでもないのだから。



宮城野の空気

高野 明子 (旧姓 長澤) 9回生

2006年美術科卒業。企画とデザインWaltz by Lucy代表。

目の前をパレードが通り過ぎる。今日は5月1日、メーデーだ。人々がそれぞれの主張を堂々と叫びながら行進している。

私は今、フランスの南東部にある小さな町で暮らしている。夫の仕事に同行して半年ほどの滞在だ。企画やデザインの仕事を自営業でできるようになって3年目の春を迎えた。宮城野高校で出会った仲の良い友だちは、心からやりたいと思うことを買っている人ばかりだ。30代に差しかかり、遊びだけでなく、仕事でもコラボレーションでできることが楽しい。

宮城野は、生徒の自立心を大切にしてください先生の大らかさと、活発な行動力をもつ生徒の輝かしさが、とても心地よい学校だった。同窓会誌のために過大評価しているわけではなく、私は本当に宮城野が好きなのだ。宮城野生としてもう一度生活を送ってみたいと、未だに夢をみることさえある。

私が入学した美術科にはジャングルに生息する動物の如く、個性的で愛おしいクラスメイトが揃っていた。3年間クラス替えがなく、ホームと呼ぶのに相応しい「大家族」のようだった。一人ひとりが自分らしくあることを大切にしながら、お互いを大いに認め合う。そんな環境が自然とつくられていた。卒業後、自由度が高いと思われる美術大学に進学した時でさえ、宮城野の開放的な空気を思い出すと物足りなさを感じるほどだった。

この空気とは私にとって、多様性を認め合い、より良い創造を生む、良質な個人主義の原体験だったのではないかと思う瞬間がある。大学時代に留学したスウェーデンの美術大学では、自らの価値観で責任をもちながら独創的に活動することが大前提とされていた。宮城野と近い空気を感じて嬉しかったことを覚えている。チームでプロジェクトに取り組む仕事においても、宮城野らしい空気を感じることができる時は、お互いの個性や強みを最大限に活かした、良いものづくりが実現できている証拠だ。

今、目の前を通り過ぎるパレードに、「一人ひとりが輝く」をモットーに、自由と責任を謳歌する宮城野生の姿が重なる。宮城野の空気を吸った者なら、ただ黙って突っ立ってはいられないだろう。何かを変える種と、それを咲かせる方法を生みだせるはずだと思う。



宮城野高校を卒業してから

越中 未穂 19回生

宮城野高校を卒業してから3年の月日が経ちました。浪人し、もう一度自分を見つめなおし勉強して入った大学。そこで私は1年勉強漬けだった自分の鬱憤を晴らすかのように、やりたいことをたくさんしました。例えば、自分で地域活性化のプロジェクトを立ち上げたり、高校生のキャリア支援をするために他県に足を伸ばしたり、200人の前で5分間アドリブの授業成果の発表をしたり、シンポジウムに参加したり、市役所の会報誌に取材されたり。今まででは考えられないほどスケジュール帳を予定でいっぱいにして、分刻みで行動することが多かった大学1年。毎日が刺激的でとても濃い1年でした。その1年の中でもまだやりきれなかったこと、やり足りないことが次々と溢れ出て行動力をくれるのは、自主性を養う宮城野高校を卒業したからだと考えています。宮城野高校でよかった、そう強く思えるようになったのはここ最近です。そんな私には、まだ野望があります。それは、海外で生活すること。これは小学校からの夢です。この夢をかなえるために必要なのは、勉強の努力とほんのひとさじの勇気。この勇気ももらうためにも卒業したのは宮城野高校であるというアイデンティティを持ち続け、これからも何事にも挑戦していきたいと思っています。



今までと、これからと

窪田あやみ 6回生

卒業して、早くも16年が経ちました。美術科だったのに医学科に進んだ私は、受験勉強に燃え尽きたようで、大学では勉強半分、絵を描いては個展を開くという事を繰り返していました。今後、医者続ける事を考えると、今、20代で描ける絵を残しておこう、と思ったのです。震災の直後に卒業し、石巻の病院で2年間初期研修を行った私は、救急・集中治療を学ぶため、その後、沖縄の病院へと移りました。3年間勤務し、救急専門医を取得したところで退職。今度は30代で描ける絵を残そうと、医から美にシフトしました。今は結婚し、非常勤医などをしながら、絵を描いて暮らしています。医者には16年を費やしているので、今度は16年以内に絵の仕事で何かしらのデビューを果たすのが、今の目標です。昨年、『職業人に学ぶ』という企画の講師に呼んで頂き、久しぶりの母校に昔を懐かしむ事が出来ました。今後もあの頃のモチベーションを失わぬよう生きていけたらと思います。



宮城野高校での教育実習の経験

川野 結衣 16回生

私が教育実習をさせて頂いたのは、H27年6月で、担当科目は政治経済、担当クラスは13Hでした。私にとって教育実習は非常に心に残る経験でしたが、大変に思うことも沢山ありました。それは主に授業です。本来、倫理で教育実習を行う予定でしたが、既に倫理で決まっている教育実習生がいたので、私は政治経済で実習させて頂くことになりました。政治経済は高校の頃ほとんど勉強しておらず、自分が勉強するところから始まりました。

授業で一番苦戦したのは、語句の意味を自分の言葉で説明するという事です。それは、自分もしっかり知識を持っていないと出来ないことであった為、教育実習期間内に勉強した知識では、なかなか上手く説明できませんでした。授業をする度に落ち込んでいた記憶があります。しかし担当科目の先生が細かくご指導してくださり、またアドバイスも下さったので、なんとかそれを吸収して授業に挑んでいました。他の先生の授業や、他の教育実習生の授業を見学させてもらい、参考に出来る部分がないか探しました。最終的には、わかりやすい授業には程遠かったと思いますが、その期間内で出来ることをやりきったのではないかと思います。

担当のHRに関しては、昼休みや放課後に必ず顔を出し。なるべく全員に声をかけるようにしました。宮城野生はとても素直なので、色々相談をしてくれたり、沢山の話が聞けてうれしく思いました。生徒と関わることが、私にとってとても大切な時間であり、授業の辛さも生徒の笑顔で吹っ飛んでいました。

現在私は教員にはならず、保険会社で仕事をしていますが、今でも何回も教育実習での経験を思い出します。人に教える大変さやスキルは、今の仕事でもとても大切なことです。また、そのとき担当していたHRの生徒が、今でも連絡をくれるので、あの短い期間で良い関係を作れたのだとうれしく思います。教育実習の経験は、これからどこかで役立ったり、とてもいい思い出になったので、宮城野高校で行うことができ良かったです。ありがとうございます。



平成29年度の宮城野高校文化祭に同窓会は「メッセージボード」を用意した。当日来てくれた同窓生に何でもいからメッセージを書いてもらおうという簡単なものであったが、思いもよらぬ近況を知ることもあり、数こそ少ないものの同窓生の交流としてはそれなりなものになったのではないかと思います。(佐藤詔太)

文化祭出展

同窓会入会式

21回生が同窓会に入会しました。ここでは新しく加わった仲間から寄せられたコメントを紹介いたします。

佐竹 佑介 宮城野高校では、多くの友人と共に新たな経験を豊富に積むことができ、大変お世話になりました。同窓会幹事としての役割を全力で務めていけるよう心掛けます。

齋和磨 こんにちは、齋です。宮城野高校の同窓生の一人として、何かしらお役に立てればいいなと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。

高田 結菜 宮城野高校での楽しかった思い出を胸に大学でも頑張っています。よろしくお願ひします！

21回生 ホーム幹事

ホーム	幹事氏名(★印…常任幹事)			
31H	オカモト タン 3107 岡本みのり	クニノ ミズキ 3126 丹野 瑞貴		
	モリ ムツキ 3133 森 夢月			
32H	タカダ ユイナ 3225 高田 結菜	タカハシ ショウゴ 3227 高橋 尚吾		
	ネモト あみ 3235 根本 あみ			
33H	エンドウ カイセイ 3303 遠藤 開生	クマガヤ カイト 3311 熊谷 開人		
	ミヤカワ サエ 3338 宮川 紗絵	ミヤザワ チハル 3339 宮澤 千陽		
34H	タカハシ ナナ 3428 高橋 七渚	タケヤマ ノリ 3430 武山 乃梨		
	エンドウ アオイ 3506 遠藤 葵	オオバ ユイ 3508 大場 悠生		
35H	サイ カズマ 3513 齋 和磨	オオツキ シイタロウ 3507 大槻 怜太郎		
	オカワキ コウヘイ 3509 岡脇 昂平	サタウラ ヒロ 3519 佐竹 佑介		
	イシガキ ユウキ 3601 石垣 憂季	イハタ リサト 3604 井畑 里智		
36H	オオウチ ミチル 3607 大内 理瑠	イシグロ ユウカ 3602 石黒 悠花		
	オイワリ ショウタ 3606 及川 翔太	ヤマザキ ミコ 3639 山崎 美羽		
	アベ ユウミ 3703 阿部 友海	イワブチ ハルカ 3704 岩渕 悠		
37H	オガタ モニカ 3708 尾形萌似花			

高橋 尚吾 とても楽しかった宮城野高校の生活は一瞬で終わってしまいました。そんな楽しかった宮城野高校の生活や文化をこれからの世代に伝えて、さらなる発展に役に立つよう頑張ります。



表紙作者紹介

曾根絵里子 : Eriko Sone



プロフィール

宮城野高校美術科2001年卒業(4回生)

主専攻：彫刻

2007年 東京藝術大学院 美術研究科 彫刻専攻 修了

現在はフリー玩具原型師としてフィギュアの原型を作製。二人の子育てと、時々作品制作。

表紙絵に寄せて

「TAMPOPO」

宮城野で過ごした3年間は大人と子どもの狭間のほんの一瞬、きらきら光る特別な時間でした。世界は濃く深く、どこまでも広がって見えました。時間が流れて多くを手に入れ多くを失いましたが、あの頃見つけた自分のかけらのようなものは今も私の中に在り、静かに光を保っています。着地点の見えない不安は大人になってもそのままだったけれど、「未知なる明日、を与えられた幸運をしっかりと受け止め愉しみたい。この頃はそんなことを思っています。

Staff 募集!

同窓会は「たんぼぼ」の編集に限らず慢性的に活動人員が不足しています。同窓会では一緒に同窓会活動を行っているだけのStaffを募集しています。ご興味ご関心のある方は同窓会事務局までご一報ください。一緒に宮城野高校同窓会を充実させていきましょう!

Tampopo Project 2018-2019

たんぼぼチームは会報誌発行のため、たんぼぼに記事を提供していただける方や団体、ご意見ご感想を募集しています。たんぼぼは皆様のお力で成り立っています。どうかご協力をお願いします。また、同窓会では同窓生の活動の支援を行っています。ご連絡をお待ちしています!

次期総会・懇親会のお知らせ

平成30年度の同窓会総会・懇親会は9月22日(土)です。詳細は同封の案内状をご覧ください。

住所変更等の連絡のお願い

同窓会では安定してご案内をお届けするために刊行物等は実家住所へ送付することを基本方針としていますが、宛先不明により同窓会からの案内をお届けできない事象が多発しています(そのために発行部数が総会員数より少なくなっています)。実家の転居、結婚や独立などにより拠点となる住所に大きな変更が生じた際には、総会の案内ハガキが同窓会のWebサイトから確実にご連絡を頂きますようご協力をお願いいたします。

たんぼぼ17号 2018.7.7発行 5000部

今号から誌面構成を大幅リニューアルし、多くの同窓生の声を掲載する形へとシフトしました。原稿が集まってみると皆様に「宮城野」というものが心の真ん中にあることに驚かされました。その驚きは編集面でも想定以上で、同窓生が多岐に活躍し宮城野愛に溢れている証拠なのですが、結果として文字の小さい誌面になってしまいました。ごめんなさい。次号はもう少しすっきりスマートな誌面になるように努めます。まもなく宮城野高校は25周年を迎えます。これを機に今一度宮城野高校にご興味ご関心を持っていただけたらと思います。

卒業者数(1~21回生)

普通科	3,296
総合学科	1,662
美術科	810
合計	5,768

Tampopo Project Team 編集長：佐藤詔太(10)

宮城県宮城野高校同窓会報誌「たんぼぼ」

発行：宮城県宮城野高校同窓会

〒983-0021 仙台市宮城野区田子2丁目36-1 宮城県宮城野高校同窓会事務局
Web: www.miyagino-hs.jp E-mail: mail@miyagino-hs.jp TEL: 022-254-7211
Design:Tampopo Project Team Design,Printing: 利南印刷株式会社

©宮城県宮城野高校同窓会 Printed in Japan

平成28年度 宮城県宮城野高等学校同窓会 決算書 (平成28年8月～平成29年7月)
(単位:円)

1 収入の部

項目	予算額	決算額	比較		摘要
			増	減	
会費	1,503,000	1,483,200		19,800	会費: @1,800円×835名 退会等会費返金: 1,800円6名 5,400円1名 3,600円1名
繰越金	1,785,854	1,785,854			前年度繰越金
雑収入	0	0			
合計	3,288,854	3,269,054		19,800	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	比較		摘要
			増	減	
1 総務費	270,000	72,146		197,854	
(1) 会議費	30,000	3,939		26,061	幹事会茶菓代
(2) 旅費	150,000	33,000		117,000	幹事会交通費
(3) 需用費	50,000	30,207		19,793	コピー用紙, 上質紙代等
(5) 慶弔費	30,000	5,000		25,000	旧職員逝去に伴う香典
(6) 雑費	10,000	0		10,000	
2 事業費	1,480,000	1,417,436		62,564	
(1) 総会・懇談会費	650,000	649,864		136	総会案内印刷・発送代等 (H28・H29分) 懇親会補助
(2) 会報発行費	300,000	424,504	124,504		会報「たんぼぼ」15・16号印刷代等
(3) 在校生支援費	300,000	243,518		56,482	卒業証書ホルダー代
(4) 卒業生企画支援費	80,000	24,532		55,468	受験準備生激励会茶菓代・案内郵送料等
(5) 同窓会企画費	20,000	0		20,000	
(6) Webサイト費	10,000	5,466		4,534	レンタルサーバー費用
(7) 支部助成費	20,000	0		20,000	
(8) 同窓会名簿管理費	100,000	69,552		30,448	会員データ保守年間管理料
(9) 積立費	0	0		0	
3 予備費	1,538,854	0		1,538,854	
(1) 予備費	1,538,854	0		1,538,854	
合計	3,288,854	1,489,582		1,799,272	

平成28年度 宮城県宮城野高等学校同窓会 特別会計 決算書 (平成28年8月～平成29年7月)
(単位:円)

項目	予算額	決算額	比較		摘要
			増	減	
収入	0	0			
繰越金	10,521,679	10,521,679			前年度繰越金
雑収入	1,697	891		806	預金利息
合計	10,523,376	10,522,570		806	

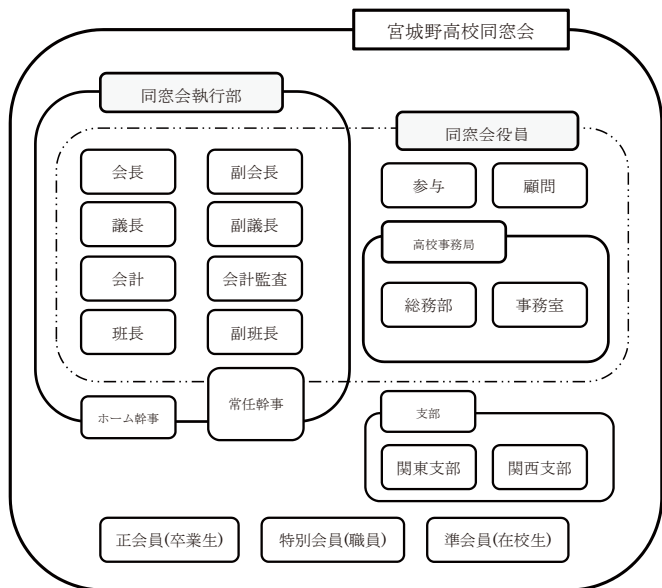
平成30年度大学入試合格者数延べ人数 * ()数は現役合格者内数

【国公立大学】	21回生	【私立大学】	21回生
弘前大	3 (2)	岩手医大	1 (1)
岩手大	3 (3)	東北学院大	101 (98)
東北大	4 (2)	東北工大	13 (13)
宮城教育大	11 (9)	東北福祉大	17 (16)
秋田大	1 (1)	東北医薬大	8 (8)
山形大	13 (13)	宮城学院女子大	18 (18)
福島大	3 (3)	仙台白百合女大	5 (5)
茨城大	3 (3)	東北芸術工大	31 (31)
筑波大	2 (2)	獨協大	4 (3)
宇都宮大	3 (3)	青山学院大	1 ()
埼玉大	2 (2)	北里大	1 (1)
東京芸大	1 ()	国士館大	1 (1)
新潟大	1 (1)	駒澤大	4 (2)
京都市立芸大	1 (1)	芝浦工大	4 (3)
静岡大	1 (1)	上智大	1 (1)
高知大	1 (1)	昭和女子大	1 (1)
九州大	1 ()	女子美大	1 (1)
国立大学合計	54 (47)	創価大	4 (4)
宮城大	22 (21)	津田塾大学	1 (1)
国際教養大	1 (1)	中央大	3 (2)
秋田公立美大	3 (3)	東海大	1 (1)
高崎経大	1 ()	東京造形大	2 (2)
首都大東京	1 (1)	東京農大	3 (2)
金沢美術工芸大	1 (1)	東洋大	2 (2)
都留文科大	1 (1)	日本大	7 (5)
静岡文化芸大	2 (2)	法政大	7 (5)
名城大	1 (1)	武蔵野美大	4 (3)
公立大学合計	33 (31)	明治大	3 (2)
		明治学院大	1 (1)
		立教大	2 (1)
		早稲田大	1 (1)
		神奈川大	1 (1)
		立命館大	3 (2)
		関西学院大学	1 (1)
		その他私立大学	18 (10)
		私立大学合計	276 (249)

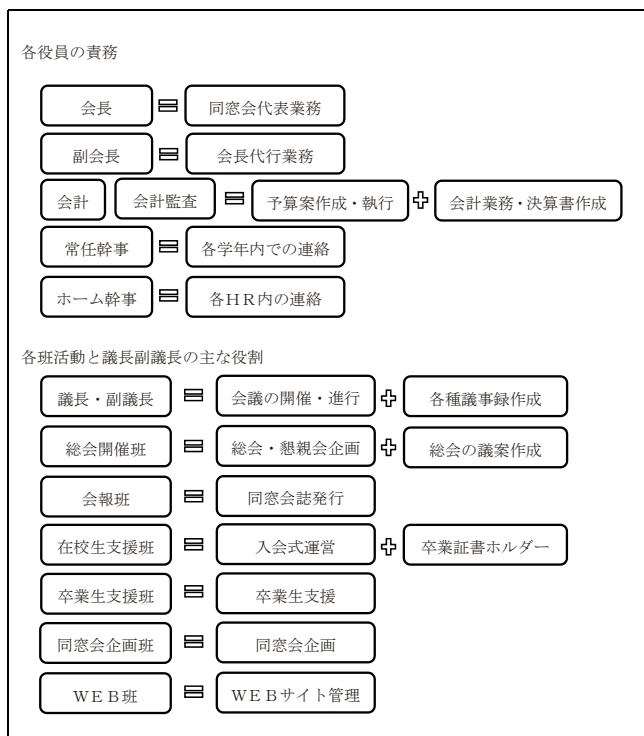
お世話になった先生方

平成30年3月
退任された先生方
伊東 玲子 校長先生
千葉 睦雄 先生
阿部順一郎 先生
石井 康宏 先生
内海 弘美 先生
小田切寿代 先生
八巻 順子 先生
転任された先生方
安斎 善和 教頭先生
田邊 元茂 先生
佐々木秀夫 先生
菊地 長武 先生
船戸 徹夫 先生
阿部 雅子 先生
田中 禮子 先生
鈴木 豪 先生
三浦 宏明 先生
平塚 和也 先生
庄子 茜 先生
三船 朋子 先生
畠山 康江 さん(事務室長)
我妻 栄子 さん(図書館司書)

宮城野高校同窓会組織図



宮城野高校同窓会執行部内訳



同窓会の体制

当同窓会では会長や議長等からなる「執行部」を設け、その中に各事業を企画運営する「班」があります。現在班は6つあり、それぞれが班長を中心に活動を行います。班長は役員ですが、班員はホーム幹事や常任幹事に限らず同窓生全員が対象です。どなたでも同窓会活動に携わることができます。現在は人員の不足により、役職関係なく活動を行っていますが、将来的にはそれぞれの班が自立して活動できることを目標としています。

※各回生のホーム幹事・常任幹事の皆様へ

こちらから連絡が取れなくなっている事象が多数発生している状態です。全くメンバーが分からなくなっている回生もあります。メンバーの把握のためにも事務局にご連絡いただきますようご協力をお願いします。

平成30年度 宮城野高校同窓会役員・執行部

平成30年度6月現在

役 職	氏 名(回生)
執行部	会 長 庄司 諒(10)
	副会長 柴田 康博(1) 笹川 直子(1)
	議 長 吉澤 和(16)
	副議長 吉田 友香(1) 鎌田 航平(18)
	会 計 西海 奏(1) 堀込 洋子(7)
	会計監査 柴田 久美子(2) (白石 加奈子(6))
	総会開催班 大泉 卓也(10) 宮下 陽菜(12)
	会報班 佐藤 詔太(10) 加藤 健太(19) 村尾 雄斗(19) 武山 乃梨(21) (阿部 琢哉(6))
	在校生支援班 吉田 瑞生(18)
	卒業生支援班 竹内 大空(16) 相澤 梨沙(17)
	同窓会企画班 上野 岳(10) 新入会生(持ち回り制:今年度は21回生)
	WEB班 庄司 諒(10)
参 与 遠藤 吉夫(現校長)	
宮城野高校事務局 遠藤 和浩(総務部長) 日野 慎一(総務部) 櫻井 達夫(事務室長) 藤原 昇(元総務部)	